

第5学年 道徳科学習指導案

稲城市立城山小学校

5年2組 32名

授業者 加藤 剛

1 主題名 目標の達成に向かって A〔希望と勇気、努力と強い意思〕

2 教材名 「キャプテン」 (文溪堂)

3 主題設定の理由 (授業者の指導観)

(1) ねらいとする道徳的価値について (価値観)

人がよりよく生きるためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲をもつことが大切である。そのためには、自分の目標をもって、その達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことはしっかりとやり抜く忍耐力を養うことが求められる。

この時期の児童は、自分の夢や理想を膨らませるようになる。一方、自分自身に自信がもてなかったり、思うように結果が出なかったりして、夢と現実との違いを意識することもある。自分の内面に目を向けられるようになってきたこの時期に、自己の向上のためにより高い目標を設定し、その達成を目指して希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力しようとする強い意思と実行力を育てることが大切である。

(2) 児童の実態 (児童観)

本学級の児童は、運動会や学習発表会などの学校行事において全体及び個人の目標を設定して練習に取り組み達成感を味わうことができた。また、地域の活動として取り組んでいるスポーツや音楽など、目標をもち活動している児童も多い。しかし、自分自身の目標に向けて努力する姿勢には個人差が大きく、困難なことに会うと、つらいことを避けようとしたり、だれかに助けてもらおうとしたりして、すぐあきらめてしまう児童もいる。

目標を実現するためには、数々の困難がある。しかし障害を乗り越えたとき、自分のよさを見いだすことができることに気付かせたい。そして、具体的な場で、努力することや粘り強く取り組む態度を大切にするように指導していきたい。

(3) 教材について (教材観)

転校先で野球部に入った谷口君は、優秀な選手と勘違いされてしまう。みんなの期待に応え、野球が上達するよう毎日厳しい練習に励むが、理想とするまでには上達できなかった。新オーダー発表の日、本当のことを打ち明けるが、みんなからそれまでの努力が認められてキャプテンに選ばれる。

この教材を通して、粘り強く一途に努力することの大切さ、さらに、努力することが自信や人からの信頼につながることに気付かせたい。

4 研究主題に迫るための手立て

(1) 教材提示の工夫

大型モニターを活用し、BGMとともに教材の画像を表示しながら読み聞かせを行うことで教材のよさに浸れるようにする。

(2) 終末の工夫

授業の最後に、ねらいにそった映像資料を見せる。結果的に努力が実らなくても、その過程が大切なのだという気持ちをもてるようにする。

5 本時の学習

(1) 本時のねらい

みんなの期待に応えようと努力する谷口君の気持ちを深く考えることを通して、目標の達成に向けて困難にくじけることなく、粘り強くやり通そうとする心情を育てる。

(2) 学習指導過程

	学習活動 主な発問 (○) 予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点 (●) 評価 (☆) <u>研究主題に迫るための手立て (数字)</u>
導 入	1 自分が目標にしていることについて考える。 ○目標に向かって努力していることは何ですか。	●コの字型座席 ●主題名を提示する。
展 開	2 教材「キャプテン」を視聴して話し合う。 ○自分が一流選手だといううわさが広まってしまったとき、谷口君はどんなことを考えたでしょう。 ・こまった。どうしよう。 ・自分は補欠だったのに。 ・本当のことを言わなくちゃ。 ・のびのびやりたいたいだけなのに。 ○谷口君は、どんな思いで、お父さんと秘密の練習をしていたのでしょうか。 ・がんばるぞ。 ・本当にうまくなるぞ。 ・なかなかうまにならない。 ・つらい。もうだめだ。 ◎みんなからキャプテンを頼まれたとき、谷口君はどんな気持ちになったのでしょうか。 ・希望をすてずに、がんばってよかった。 ・もっとうまくなりたい。 ・みんなの期待にこたえたい。 ・新たな目標に向けてがんばろう。	<u>モニター前に集めて視聴させる。</u> <u>(1)</u> ●発問後、児童が考える時間を十分に確保する。 ●ハンドサインを活用し、友達の意見と比べながら発言させる。 ☆主人公の心情を共感的に考えている。(発言・観察)
	3 教師の説話を聞く。	●スポーツに限らず、いろいろな分野での努力に目を向けられるように、自分自身の振り返りの前に説話を行う。
	4 自分の生活を振り返る。 ○今、自分が努力していることや、これから努力したいことはありますか。	☆自分がしている努力に気付こうとし、これからの自分を考えている。 (ワークシート)
終 末	5 映像を視聴する。	<u>努力する大切さを感じられる映像を見せる。(2)</u>